

まつ お やま でら

松尾山寺遺跡報告書発刊記念展示会

2025

12.13 [土]

2026

1.25 [日]

京

みやこ



山寺

—なぜ人は山に登るのか—



令和7年度京都市考古資料館合同企画展

開館時間：午前9時～午後5時

＊入館は午後4時30分まで

休館日：月曜日（祝日の場合は開館。翌平日が休館）

12月28日～1月3日は休館

入館料：無料

主催：立命館大学文学部考古学・文化遺産専攻

立命館大学考古学研究会

京都市考古資料館

公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所

京都歴史文化施設クラスター実行委員会

京の山寺 —なぜ人は山に登るのか—

北・東・西の各方を山に囲まれた「四神相応」の地、京都盆地に存在した古代都市、平安京。このみやこを取り囲む山々には、そこに暮らす僧・修行者たちの修行の場である「山寺」の世界が広がっていた——

音羽山清水寺や比叡山延暦寺、高雄山神護寺など今なお人々を惹きつける山寺が存在する一方、ほとんどの山寺は廃絶し、今では歴史の中に忘れ去られた存在となっている。

本企画展示では、立命館大学考古学研究会によって発見された松尾山寺遺跡をはじめ、近年、赤色立体図などの最新データを用いた研究により、その姿が明らかにされつつある京都盆地周辺の山寺について、その遺物を展示し、宮都の外側にあった「京の山寺」の世界を明らかにしていく。



須恵器 瓶子 平安中期
松尾山寺遺跡



緑釉陶器 碗 平安中期
江文寺跡



均整唐草文軒平瓦 平安前期
大北山天神岡遺跡



須恵器 壺 平安中期
西賀茂蓮葉谷遺跡（京都大学考古学研究会所蔵）

関連企画

講演会

オープニングトーク

「松尾山寺について語りたい!!」

調査に関わった学生・OBが松尾山寺の魅力について語りつくす!

| 日時 | 12月13日(土) 14:00 ~ 16:00

| 会場 | 京都市考古資料館3階旧貴賓室

| 定員 | 先着50名

| 申込 | 申し込みフォームより申し込み

松尾山寺遺跡調査報告書発刊・企画展「京の山寺」開催記念シンポジウム

「京の山寺 —松尾山寺と京洛の山寺—」

| 日時 | 12月21日(日) 13:00 ~ 17:00

| 会場 | 立命館大学衣笠キャンパス以学館101ホール

| 講師 | 梶川敏夫(元京都市考古資料館館長)

藤岡英礼(滋賀県栗東市教育委員会)

岩瀬通・岡村隆洋・手嶋響紀(立命館大学大学院・考古学研究会 OB)

岡寺良(立命館大学文学部教授)

| 申込 | 不要(当日会場受付・定員400名)

体験講座

体験イベント①

「古代の硯で書道体験」

松尾山寺でも見つかった古代の硯(円面硯)を使って墨を摺り、「山寺印」をつくろう!

体験イベント②

「瓦の拓本体験」

拓本で瓦の紋様を写し取ってみませんか?
拓本した紙はお持ちかえりいただけます。

| 日時 | 1月10日(土)

| 会場 | 京都市考古資料館

時間 体験イベント① 10:00 ~ 12:00

体験イベント② 14:00 ~ 16:00

| 定員 | 各先着10組

| 申込 | 申し込みフォームより申し込み

展示解説

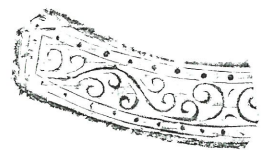
「京の山寺展のすべて」

展示を企画した立命館大学学部生・大学院生らによる展示解説。

| 実施日 | 12月13・20・27日、1月10・25日(10時~15時の間で随時開催)



* 山寺印イメージ



* 拓本イメージ

* 表面上 松尾山寺赤色立体図 中 八瀬近衛町遺跡全景 下 如意寺大岩 左下 鳴瀬宇多野谷遺跡須恵器瓶子



京都市考古資料館
Kyoto City Archaeological Museum

京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265 番地の 1
TEL.075-432-3245 (代) FAX.075-431-3307
問合せ先: <https://www.kyoto-arc.or.jp/blog/toiwase-2.html>



資料館お問い合わせはこちら
京都市考古資料館



イベント申し込みはこちら
※11/20(木)より受付開始



文部科学省
Agency for Cultural Affairs
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology